

## 骨密度測定

骨密度測定は骨粗鬆症（こつそしょうしょう）という病気であるかを診断するために行われます。

骨粗鬆症になると骨の強度が低下し、簡単なことで骨折しやすくなります。骨折してしまう可能性がどの程度あるか、骨折しない為の予防策として、ご自身の骨密度を知ることは重要です。本装置は微量の X 線を用いて検査を行い、他測定法と比べてより正確に骨密度を調べることが可能です。

さらに、本装置は四肢の筋肉量を計測でき、サルコペニア（病的な身体機能低下）の診断に利用されています。これによりロコモティブシンドローム（骨・筋肉に支障をきたした運動障害）の程度を知ることが可能となります。検査は固定具やクッションを用いて行い、再現性の高い検査を目指しています。



### 装置外観

全身を測定することができます。



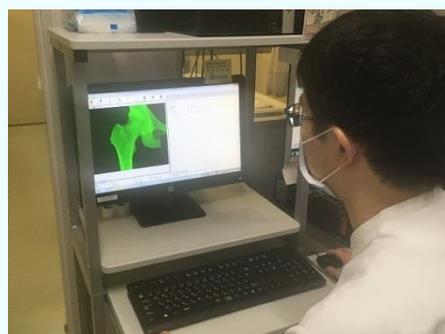
### 始業点検

検査開始前には必ず点検ツールを用いて装置が正常に動作をするか、測定値が正しい範囲内にあるか点検します。



### ポジショニング

再現性の良い検査を心掛けています。



### 解析処理

測定データを解析処理し、医師に検査結果レポートを提供します。